

運動会の練習はこれ迄クラス単位で行うのが主流でした。そろそろ学年単位で行う時期に入りました。

こうなると、これ迄以上に雰囲気が伴うので、こどもたちにとっては良い刺激になるし、勝ち負けの結果を「よろこび」とくやしさを味わう事になります。意欲が育ちます。

■NHKは2020年とその先の未来に向かって頑張っている全ての人々を応援の為に「パブリカ」という曲を5人の小学生による新しいユニット“フーリン”が唄と振りを担当して、この曲を聴いた全てのこどもたちがこれから小さな世界を元気に生きていく為の糧になつてほしいと願ってのプロジェクトを開始しました。

自給のこどもたちと2学期から唄いはじめています。

自由あそびのとき、朝のバスの中でこどもたちの楽しげな歌声が流れています。

その内に楽しい振りを加えてみたり、楽しさをいっぱいにするでしょう♡



つぼみ組のお城が出来、そこでのつぼみさん達の生活を1週が経ちました。

時折り、年中組 年長組の代表数人がトイレタイムやランチタイムにお手伝いに来てくれます。お兄さんお姉さんたちにとっても、どんな園舎か興味あるところで、はりきってやって来ます。

登園して直ぐにさつぼみのお城に入りますが、毎日朝の一番につぼみ通路から階段を登って、きく組の教室の前を通って、階段を降りてホールで体操しています。またまたある日お城へ帰ります。

心の育ち

(心の育ちシリーズ)
京都の嵯峨野と言えば壮大に広がる竹林で有名です。陽があまり差さないその竹林に200メートルに亘って続く竹林の道と呼ばれる散策出来る道があります。

「これだけの沢山の竹ですが、育ち方は1本1本違ってバラバラなんですね。伸びの早い竹であればゆっくりのんびり伸びていい竹があるんです。でも最後はこのように同じ背丈になるんですね」と地元の才の説明。

この話を聞いて、こども幼児の育ちと竹の育ちと同じなんだな…と思いました。

これ迄の46年間 5000名を超える幼児たちが築いてきました。

その育ちは全て一緒にではなく、同じではありませんでした。早い子を居ればゆっくりのんびりの子を沢山居ました。

ややすると「うちの子あれが出来ない!」「これが遅い!」と他の子とくらべてしまいがちなお母さん達。子は親の背を見て育ちます。

幼児期の経験が力になり、次の児童期から少年期へと育ちはまだまだ続くのです。

厳しさと温かさを交じながら我が子の心を育てましょう。